

「**農地改革と農民運動**」は、各町

発表を可及的早くお願いします。

村農業団体の歴史の的なのですから、内容の  
いかんによらず、売れるはずです。私一人で  
も県内をもち廻れば五十部は売つてみせます。

大会よりもあとの懇親会の方がよほど村研  
らしい氣氛のよいものでした。前夜の社会學  
会の懇親会の余りにもフォーマルなふる興味  
に比べると、なるほど村落共同体の研究家の  
集りらしいインフォーマルなもので、来年度  
はぜひ徹夜して語り合えるよう臺の面を用意  
しておいて頂きたいものです。

二、各会員の研究業績を発表方法（雑誌名等  
）とともに半年毎にまとめて報告願い、そ  
れを載せて貰えたら、会員間の連絡、研究  
交換に非常に便利です。

次に、来年の課題については結局まとまら  
なかつたようですが、やつぱりできるだけテ  
ーマはしほつた方がよいと願います。かなり  
しほつても、たゞ早く決定發表さえしてもら  
えれば何とか皆が参加する体勢がととのえら  
れるのではないかとしようか。その意味で、あ  
の席上かなり有力だった部落共同体はまだテ  
ーマとして広範にすぎるようです。ここにあ  
らためて、私は山林地主あるいは山林社会の  
構造の研究を提唱します。前者は農地改革後  
の最大の地主の観点として論ぜられながら、  
最近出た福本和夫氏の著書をみて分析はま  
だく不十分ですし、後者はそれとも関連が  
あり、また最近社会學で農村が研究されてい  
る割に山村があろそかになつてゐる現状にか  
んがみども、このさい村研がとりあげる必要  
があると思うのです。いずれにしても決定の

最後に「村研通信」についての注文。  
一、関係新刊書のアックレゲーターを毎月のせ  
て下さい。

## 提案と註文

生田清

「農地改革と農民運動」というもつとも実  
際的な課題をもつて集りながら、自然的な論  
議も交さぬず、また将来の動向という切実な  
見通しへの發言も少なかつたことは、残念で  
した。がんばり学者だけの集りである村研の  
性格上已むをえないのかもしませんが、せ  
めこののような問題を扱うときだけでも、会  
員外の農業団体の指導理論家の出席を願つて、  
もっと実践そのものから汲みとられた意見も  
反映させてよいのではないかと思ひます。最初  
から柄でもないテーマをそらんだものだ、  
という感じでした。しかし、年報はなるべく  
早く出してほしいし、発行も第一葉に比べ  
て安くて落ちることはないと確信します。何